

ふくしま便り

No.4

2016年10月31日発行

10月号

日本生協連
組合員活動部

仮設住民の憩いのひと時になっているふれあいサロン。

災害公営住宅などへ移転する人たちが増え、参加者が少なくなってきました。

9/23 公営住宅をカバーする大玉村のさくら社会福祉協議会と合同で茶話会を開催しました。新たな試みが始まっています。



仮設住宅ふれあいサロンから ～富岡町緑ヶ丘仮設、双葉町北幹線～



9/2 富岡町・郡山市緑ヶ丘仮設集会所にユーコープの組合員、職員4名が訪れ、住民のみなさんと静岡、神奈川のお菓子をいただきながら交流しました。19名が参加しました。



9/27 双葉町・福島市北幹線仮設集会所で茶話会を開催しました。双葉町で釣りやキノコ採りをやっていたころの思い出などを語り、懐かしのカラオケを楽しみました。



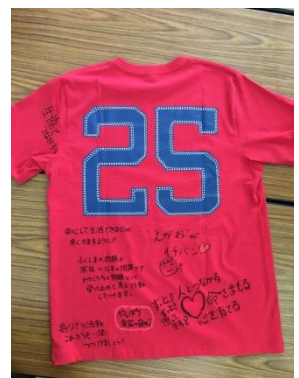
生協ひろしま「被災地のお話を聴くつどい」 ～9/30～10/1日 広島市・福山市

東日本大震災から5年半が経過しました。生協ひろしまでは被害の大きかった岩手、宮城、福島の地域生協の「お話を聴くつどい」を開催しました。いわて生協は小野寺さん、みやぎ生協は須藤さん、コープふくしまは松崎さんがこれまでの活動や被災地の現状をお話ししました。

“広島カープ”が25年ぶりのリーグ優勝を決めた記念に、寄せ書きした背番号25のTシャツをいただきました！



報告する松崎さん





大分で「みちのく福島秋の物産販売」～9/17～18 OBS（おおいた放送）感謝際～



おおいた放送が主催する感謝祭が開かれました。
 コープふくしま、JA ふくしま未来、福島メーカーが大分を訪れ、コープおおいたのみなさんと共に福島の秋の農産物のおいさをアピールし販売しました。白桃、梨、ぶどうは初日の開始から3時間で売り切れる大盛況となりました。お菓子、お酒、お土産も販売しました。

（JA ふくしま未来菅野組合長～中央～とコープふくしまのみなさん）



福島の現状を知る 視察と学習会

【被災地視察に訪れた生協】

8/23～25 コープおおいた、9/2 生協共立社、9/7～8 コープさが、9/16～17 福井県民生協のみなさんが被災地訪問を実施しました。9/3には、ユーコープのみなさんが富岡町緑ヶ丘仮設茶話会を訪れ、住民と交流しました。



知ってますか？ ～東京電力福島第一原発の汚染水対策～

福島第一原発では廃炉作業が進んでいますが、「汚染水」が作業の大きな障害となっています。汚染水とは、放射性物質で汚染された水です。核燃料の冷却水の他、原子炉建屋に毎日約150トンの地下水が流れ込み新たな汚染水となっています。このため汚染源を「取り除く」、汚染源に水を「近づけない」、汚染水を「漏らさない」という3原則に基づく対策が行われています。しかし、浄化装置では取り除けない核種も存在します。そうした汚染水は、原発構内にタンクを作り貯蔵しています。その総量は増え続け、（8月現在）87万トンとなっています。保管量には限度があるため、基準以下へ濃度を薄めて海洋放出する案も出されていますが、海への排水は行政と漁業関係者の理解が必要です。最終的な処分をどうするかについては、いまだに結論が出ていません。

サロンに
おじゃま
しました！



9月23日（金）大玉村・さくら社会福祉協議会の「茶話会」にコープふくしまから理事、職員、組合員5名が参加しました。大熊町の仮設住宅から災害公営住宅へ引っ越しが進んでいるため、地元社協と一緒にふれあいサロンを行う試みです。NPO「3.11被災者を支援するいわき連絡協議会」の交流員2名も参加しました。今後はこうした他団体との共同開催が進んでいくものと思われます。

-住吉-

発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部
 電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

住吉 小池